

## 平成 29 年度からの本格運用に向けて（案）

平成 28 年 12 月 22 日  
統計の精度向上及び推計方法改善 WG

## 1. 各方面からの意見等

平成 29 年度からの本格運用に向け、第 3 回 WG におけるステークホルダーからの意見、関連する研究会等における報告は以下のとおり。

## (1) 第 3 回 WG における意見

- 年末に諮問会議で取りまとめられる改善取組のリストの中には PDCA サイクルで対応してもらおうものも入ると考えられる。  
(内閣府)
- 年末に取りまとめる政府の取組方針がリストアップするものをまず検査する方がシナジーが働いて望ましい。(日本銀行)

## (2) 各報告書等における記載

- より正確な景気判断のための経済統計の改善に関する研究会報告書（平成 28 年 12 月 13 日）
- 統計のステークホルダーのニーズを反映した統計精度の向上を図るための PDCA サイクルを構築の取組を推進する。具体的には、統計委員会・総務省において、統計のステークホルダーとの意見交換を通じて検査する対象統計や検査内容を確定した上で、統計精度に関する情報開示基準・指針に照らした開示状況の検査、及び調査対象の属性について標本と母集団の適合状況や類似統計とのかい離分析といった回収状況の検査を行い、その解決方法や改善点を提示し、その結果をフォローアップする仕組みを整備する。この取組の推進に当たっては、「GDP 統計を軸とした経済統計改善の取組方針」の推進にも資する取組とすることが望まれる。（統計委員会、総務省）

## 2. 本格運用に向けた対応について

上記意見等を踏まえ、平成 29 年度から対象とする統計調査について、以下の考え方で優先順位をつけて、来年度以降に検査を行う対象の案を作成し、横断的課題検討部会において、統計のステークホルダーとの意見交換の場を経て決定することとしてはどうか。

### <考え方>

- ・「より正確な景気判断のための経済統計の改善に関する研究会報告書」に掲載され、経済財政諮問会議において「統計改革の基本方針」として決定された取組に資するものを優先的に取組む。
- ・具体的には、「統計改革の基本方針」の別紙の「I. GDP 統計に用いられる基礎統計の改善」に掲載された統計調査の中から、対応方針と検査事項に関連があるものから優先的に取組む。

# 当面の検討スケジュールについて(案)

別紙

12月

3月



12月22日  
第4回WG

2月1日  
第5回WG

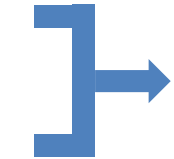
2月16日  
第5回WG

精度向上WG  
試行検査の  
対象・内容



試行検査の  
結果報告

検査事項精査



検査計画(素案)

検査計画(案)

検査計画  
の考え方

1月27日  
横断部会  
(WG検討報告)

2月23日  
横断部会

3月21日  
横断部会

検査計画(案)

- ・横断部会での審議
- ・ステークホルダーとの意見交換



検査計画  
H29年度の  
検査確定

精度向上WG

横断的課題検討部会